

会議録

令和2年1月22日提出

会議の名称	西東京市公民館運営審議会 令和元年度第8回定例会
開催日時	令和元年11月27日(水) 9時30分から11時30分まで
開催場所	柳沢公民館 第1会議室
出席者	委員：小野修平、西原みどり、伊藤正明、山本一幸、大友禾弘子、小林道子、遠藤修、大内俊、伊藤邦子、伊尻由起、渡部國夫、小沼純子、高井正、 職員：高田館長、國府方館長補佐、山本分館長(田無)、等々力分館長(芝久保)、三城分館長(谷戸)、長谷部分館長(保谷駅前)、星野主査
欠席者	委員：倉持伸江
議題	<p>1 議題</p> <p>(1) 主催事業について</p> <p>ア 令和元年度公民館主催事業計画 (資料1)</p> <p>イ 令和元年度公民館主催事業報告 (資料2)</p> <p>ウ 子ども対象事業について (資料3)</p> <p>(2) 報告事項</p> <p>ア 第6回定例会会議録(案) (資料4)</p> <p>第7回定例会会議録(案) (資料5)</p> <p>イ 行政報告</p> <p>(ア) 教育委員会報告</p> <p>(イ) 事務事業評価報告</p> <p>ウ 中央図書館・田無公民館の耐震改修工事について</p> <p>エ 利用者懇談会報告 (資料6)</p> <p>オ 公民館だより意見交換報告</p> <p>カ 公民館だより編集室報告</p> <p>キ 都公連委員部会報告</p> <p>2 事務連絡及び情報交換</p> <p>(1) 会計年度任用職員について</p> <p>(2) 公運審委員研修について</p> <p>(3) 都公連公民館研究大会参加について</p> <p>(4) 社会教育委員研修会について</p> <p>3 その他</p> <p>(1) 12月定例会の開催日時について</p>
会議資料の名称	<p>【資料】</p> <p>資料1 令和元年度公民館主催事業計画書</p> <p>資料2 令和元年度公民館主催事業報告書</p> <p>資料3 子ども対象事業について</p> <p>資料4 第6回定例会会議録(案)</p> <p>資料5 第7回定例会会議録(案)</p> <p>資料6 利用者懇談会報告</p>
記録方法	<input type="checkbox"/> 全文記録 <input checked="" type="checkbox"/> 発言者の発言内容ごとの要点記録 <input type="checkbox"/> 会議内容の要点記録
傍聴者	<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし 3名
会議内容	

1 議題

(1) 主催事業について

ア 令和元年度公民館主催事業計画(資料1)

●事務局より説明 (資料1)

○A委員

防災講座「元気が出る災害食」(田無)について、備考に書かれている東京都発行の「東京暮らし防災」「日常備蓄で災害に備えよう」は配るだけにならないよう、有用な情報が載っているページ等の簡単な紹介もしてほしい。公民館として今後も近隣小学校の避難所運営協議会と連携を続けていく考えはあるか。

○分館長(田無)

東京都発行の配布資料に関して講師または担当専門員から有用な情報の掲載ページなども簡単に紹介してもらおうよう伝える。近隣小学校の避難所運営協議会との連携は公民館として続けていくつもりである。

○A委員

ハンディキャップ講座「聴覚障がいについて学びコミュニケーション方法を知ろう」(保谷駅前)について、新規事業とのことで期待する。「映像から今を考える」(保谷駅前)について、候補作品とあるが、このうち何本かを上映できるということか。

○分館長(保谷駅前)

「映像から今を考える」については、借り上げ料の交渉中で、候補作品のうち2本程度、上映する予定である。

○B委員

ハンディキャップ講座「聴覚障がいについて学びコミュニケーション方法を知ろう」(保谷駅前)について、聴覚障がい者本人の参加も想定しているか。手話通訳の派遣予定はあるか。共に学ぶ必要もある。

○分館長(保谷駅前)

ハンディキャップ講座については、健聴者の参加を想定しており、手話通訳者をつける予定はない。

○C委員

保谷駅前公民館と谷戸公民館の上映会の日程が3月1日(日)に重複している。各館事前調整を要望する。

○分館長(保谷駅前)

上映会の開催日程については、今後調整を図る。

○D委員

子どもの課題を考える講座「不登校でもいいじゃん!(仮)」(ひばりが丘)について、4年目の事業だが当事者本人の参加はあったか。今夏に保谷駅前公民館で不登校生徒の進路相談もできる事業があったが同様の相談もできるのか。

○副会長

子どもの課題を考える講座(ひばりが丘)には、4年前の初回から全て参加しているが、こちらは不登校生徒本人ではなく、そうしたお子さんをお持ちで悩んでいる親たちや不登校に悩む子どもたちに寄り添おうとしている地域の人たちの情報共有の場、団体として継続活動をしている。

○E委員

「映像から今を考える」(保谷駅前)について、連続講座なのか、個々に応募するのか。重いテーマの上映を同日に午前午後と連続上映するのは、観る側も辛くなる。

○F委員

「映像から今を考える」(保谷駅前)について、予算はどのくらいなのか。上映だけでなく公民館のPRもこの機会にお願いしたい。ハンディキャップ講座「聴覚障がいについて学びコミュニケーション方法を知ろう」(保谷駅前)について、ボディランゲージでも伝わることも加えてほしい。

○分館長(保谷駅前)

「映像から今を考える」の上映作品の借り上げ料は作品によって異なる。公民館を様々な機会にPRしていきたい。

○G委員

保谷駅前公民館は駅に直結の立地を生かして、ポスターを貼る場所の工夫もお願いしたい。

○H委員

映画の上映に関しては、事務事業評価でも取り上げられている。公民館ごとに異なる主催者側のミッションを持って取り組んでいる。ハンディキャップ講座(保谷駅前)という名称はいかがなものか、コミュニケーション講座の方が内容からふさわしい。

○A委員

ハンディキャップ講座「聴覚障がいについて学びコミュニケーション方法を知ろう」(保谷駅前)について、障害の種類も様々あるので、今回聴覚障害を取り上げるなら、聴覚障がい者団体にも声をかけて企画してもよい。

●令和元年度 公民館主催事業計画6件は承認される。

(1) 主催事業について

イ 令和元年度公民館主催事業報告 (資料2)

○D委員

高齢者の課題を考える講座「知っていますか?認知症のこと」(ひばりが丘)は、身近な問題。年齢の高い方へのわかりやすい資料の配慮をお願いする。

○H委員

上映会 長編映画「毎日がアルツハイマー」(ひばりが丘)の参加者から、高齢者の課題を考える講座「知っていますか?認知症のこと」(ひばりが丘)へ、4人の申込みがあったという、2つの講座の連携が素晴らしい。他の公民館でも上映会と講座の連携が必要。

○K委員

高齢者の課題を考える講座「知っていますか?認知症のこと」(ひばりが丘)について、高齢者にもわかりやすい資料の工夫を。参加者の年齢層を教えてください。

○館長補佐

80代7人、70代9人、60代4人、50代2人、40代1人である。

○F委員

高齢者の課題を考える講座「知っていますか?認知症のこと」(ひばりが丘)について、全3回とも参加した人数は何人か。

○館長補佐

全3回とも参加した人数は把握していないが、各回の参加人数は1回目17人、2回目20人、3回目16人である。

○F委員

若干C評価があったようだが、高齢者にはスライドと手元資料と両方を見比べる事は厳しい。スライドの枚数や、資料の枚数を少なくする配慮を。

○B委員

高齢者の課題を考える講座「知っていますか?認知症のこと」(ひばりが丘)について、備考に、サークル主催で地域包括支援センター長を講師に招き認知症勉強会を開いたとあるので、40代~50代のいるサークルにも斯様な講座を実施していることを伝えていきたい。

○会長

高齢者の課題を考える上で、公民館の講座内容と対象を誰にするか、6館での協議は有用。

○G委員

保育付き講座報告2本に子どもたちが共に成長している記入あり。公民館保育室のあり方を再確認できた。

○A委員

現代的課題を考える講座「地域から“孤立”をなくすヒント2」(田無)について、プログラミングを取り入れた講座の感想で、QRコードでの資料配布が良いとあるが、どのようにされたのか。会議後、分館長にお聞きする。

○A委員

高齢者が多く参加する講座では、年代に合わせた資料作りを考慮すべき。

●令和元年度 公民館主催事業報告6件は承認される。

(1) 主催事業について

ウ 子ども対象事業について (資料3)

○館長

25事業あり。社会教育課とすり合わせは行っていない。放課後子ども教室と情報共有できるのか、公民館6館の事業内容を把握し、次年度の見通しが立った時点で情報共有していく。

○A委員

社会教育課が取りまとめた、各小学校の施設開放運営協議会の事業は、新年度に入ってから実施日程が変更になることも多い。随時、担当者レベルでの確認も続けてほしい。

○A委員

前回の定例会で、柳沢公民館の陶芸窯の更新が話題に挙がった。全小中学校に陶芸窯が設置されているので協力いただくことはできないか。

○I委員

電気、ガスなど陶芸窯の種類によって、陶芸窯の癖がある。指導する側も考慮が必要。

○J委員

小中学校にあるのは全て電気仕様。碧山小学校や保谷第一小学校では稼働していない。

○K委員

田無第一中学校では、PTAのOBなど地域の方が複数で、夏休みに使用。

○C委員

高齢者と接する時間が長いのは、共働き家庭だと小中学生、子ども向け認知症講座の実施も有意義では。

○J委員

小学4年時に、地域包括支援センターに於いて認知症サポーター養成講座を実施している。

○K委員

中学校では、3年時に認知症サポーター養成講座を行っている。ヤングケアラーは、それが原因で不登校になることもあり社会的問題ともなっている。

(2) 報告事項

ア 第6回定例会会議録(案) (資料4)

イ 第7回定例会会議録(案) (資料5)

○副会長

主旨や流れが違うところがあればご指摘を頂きたい。締め切りを設けて集約する。各自、赤字で訂正して会長に送信してほしい。集約後、修正したものを再検討予定。

(2) 報告事項

イ 行政報告

(ア) 教育委員会報告

○館長

第10回教育委員会において平成30年度公民館事業評価の結果を報告した。

重点施策への取組に対する二次評価がCとなっていることについて、障がい者に対する施設のさらなるバリアフリー化が施されていないのかと質問があり、くるみ学級とあめんぼ青年教室という2つの障害者学級の取組にとどまっていることを説明した。

また、昨年度の評価より全体的に低調のため、改善に取り組んでいないとの誤解を生ずる。

評価について教育委員より今一度委員たちと共通認識を確認し、今後の連携に期待するとの発言があった。

○A委員

教育委員会報告について、評価表に付随して公運審の付帯意見も提出したが、それに関する質問や意見は出されたか。

○館長

付帯意見に対する質問や意見はなかった。

(2) 報告事項

イ 行政報告

(1) 事務事業評価報告

○館長

事務事業評価の対象となった2事業は、ともに抜本の見直しが求められており、視聴覚教育事業は予算の縮減を、広報活動は予算の適正配分と縮減を求められている。

(2) 報告事項

ウ 中央図書館・田無公民館の耐震改修工事について

○館長

今年度が基本設計、来年度が実施設計、令和3年度に耐震改修工事という予定で進んでいる。まだ正式に決まっていないが、耐震補強とあわせてこれまでの各種会議での意見や、利用者からの要望や意見が盛り込まれた耐震改修となる予定である。

○A委員

市民会館閉館や中央図書館・田無公民館の耐震改修工事の市民説明会のなかで、市民会館建替えが終わるまで、田無公民館が重複して閉館しないよう配慮を求める意見があったが、令和3年度に田無公民館が工事閉館では両方が利用できなくなる。基本設計の内容や改修時期の予定に変更が入る余地はあるのか。中央図書館が1年間閉館することに対する担保はあるのか。

○館長

図書館に関する協議内容はわかりかねるが、中央図書館・田無公民館耐震改修工事の時期は、利用者の安全を考えると後ろに延ばすことは難しいと思われる。

○G委員

3階は従前どおり、耐震改修後も音出し可能か。

○館長

今までと変わらない。

○E委員

3階会議室は土足禁止のままか。耐震改修工事予算は、公民館予算とは別予算か。

○館長

3階会議室は土足でも可能。耐震改修工事は別対応の予算だが、備品購入は公民館予算。

(2) 報告事項

エ 利用者懇談会報告（資料6）

○A委員

柳沢公民館の報告中、印刷機使用料の自動支払機導入は原紙1枚 35円の5円に対応できず断念した経緯があるが、5円玉対応のコインベンダーが設置されている公共施設が市内にもある。再度確認して各館の印刷機更新時期には検討を。ひばりが丘公民館報告にある麻雀卓備品購入の要望や、芝久保公民館報告のグランドピアノ設置の予算化、周囲に飲料の自動販売機がないひばりが丘公民館内冷水機を設置の可能性は。

○分館長(芝久保)

公民館6館の内、芝久保公民館のみグランドピアノがなく、閉館した市民会館から移設の可否を市長部局と調整し移設費を予算要求。利用者懇談会で意見を聴取、移設について賛同を得ている。

○A委員

グランドピアノの移動にはジャッキアップが必要だが、公民館での保有の有無は。

○分館長(芝久保)

閉館した市民会館から搬入するグランドピアノにはジャッキがついている。市民会館からの移送費は予算化を検討している。

○事業係主査

柳沢公民館はジャッキを保有、ロビーコンサート時にグランドピアノの移動の為使用している。保有していない館は、調律が狂うため話し合いで位置を決めて移動しない館もある。

○F委員

ひばりが丘公民館の場所がわかりづらい、案内板を講座参加者で作成することも一案。

(2) 報告事項

オ 公民館だより意見交換報告

○会長

事務事業評価で取り上げられている、主要な広報活動である公民館だよりの発行について、昨日、公運審委員と高田館長、國府方館長補佐、星野主査と意見交換の場を持った。全戸配布、毎月発行を継続、予算縮減の為、発行ページ数の月毎増減を図る等の意見が出された。引き続き公運審で検討していく。

(2) 報告事項

カ 公民館だより編集室報告

●担当委員より「第8回公民館だより編集室会議」について報告。

(2) 報告事項

キ 都公連委員部会報告

●担当委員より「第8回委員部会運営委員会」について報告。

2 事務連絡及び情報交換

(1) 会計年度任用職員について

○館長

地方自治法・地方公務員法が来年4月に改正されることに伴い適正な任用、勤務条件の確保を旨とする。概要は参考資料を参照。嘱託員にも法律上守秘義務が課され、期末手当の支給や休暇の付与等で改善がなされる。

西東京市での募集については、市ホームページに11/8付で、市報では11/15号に掲載された。公民館保育員は12/21、公民館専門員は12/28に面接試験を行う。

○A委員

会計年度任用職員に切り替わるが、試験のやり方は従来通りか。条例改正は既に議決されて

いるが、規則等は改正されるのか。

○館長

要綱や規則は改正される。試験は従来通り。4回まで更新可能、その後再受験する。

○H委員

期末手当が増え、総収入は上がるのか。

○館長

上がると考える。

○C委員

パソコン必須とある場合、実技試験を行うのか。

○館長

面接でパソコン操作の可否を問う。

(2) 公運審委員研修について

【日時】令和2年1月24日（金）午後3時30分～午後5時30分

【場所】柳沢公民館

【講師】高井正委員

●事務局に出欠の連絡を。

(3) 都公連公民館研究大会参加について

【日時】2月1日（土）

【場所】昭島市

●参加者は、どの課題別集会を希望するか事務局に連絡を。

(4) 社会教育委員研修会について

【日時】令和元年12月19日（木）午後1時～5時30分

●参加希望を確認。参加希望者5人。

3 その他

●事務局より12月定例会の開催日時について連絡

【日時】令和元年12月18日（水）午後6時30分～

【場所】柳沢公民館第一会議室